

新型コロナウイルス感染対策

～大会中の留意点～

大会当日全体

- ① ピッチ外では周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにする。
- ② ゴミ等は各自持ち帰りとする。
- ③ 移動の際の、感染防止対策を行う。(換気・マスクの着用・座席を離す等)
- ④ 会場に置く荷物等は、できるだけ周りに配慮しながら距離を保つ。
- ⑤ 会場ではトレーニング以外マスクを着用する。
- ⑥ トレーニング前後の手洗いうがい、消毒を徹底する。
- ⑦ 試合前の W-u p についてはマスクの着用を義務付けない。しかし、終了後は速やかに着用する。
- ⑧ 弁当は各自準備して下さい。

大会当日 チーム

- ① 選手以外(試合中の W-u p も含む)はマスクを着用する。※監督・コーチ・その他ベンチに入るメンバーも同様とする。
- ② ゲームに出場しないメンバーはできるだけ距離をおき 3密に留意しながら観戦する。
- ③ ゲーム前は握手なしとする。
- ④ ボトルの回し飲みは禁止とする。(個人用ボトルで対応、飲水タイムの実施、給水箇所の設置など)
- ⑤ 会場において唾や痰を吐くことは極力行わない。
- ⑥ 飲みきれなかったスポーツドリンク等は必ず水場に捨てる。(グラウンドに捨てたりしない)
- ⑦ タオル等の共用は避ける。
- ⑧ ゲーム終了後は速やかにベンチアウトし、参加選手の健康観察を実施する。
- ⑨ 健康観察後、体調不良者が出ている場合は速やかに大会事務局に報告をする。
- ⑩ 大会参加後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに事務局へ連絡する。

大会当日 見学者

- ① 応援活動は禁止とする。
- ② 観戦・応援についてもマスク着用と 3密防止、ソーシャルディスタンスを確保する。
- ③ できるだけ大声での声援を送らないことや会話を控えること。
- ④ 観戦・応援の際は必ず会場のルールを確認し、指示に従うこと。
- ⑤ 見学者へ別紙留意事項を観戦者へ配布するもしくはピッチの見えるところへ掲示するなど周知できるように工夫をお願いします。

◎大会期間中の対応について

選手、スタッフの体調不良、その家族の体調不良、関係者の体調不良等多くが考えられます。いずれの場合も、早急に事務局までご連絡お願いいたします。状況を把握し、事務局で審議し、その後の対応を決定したいと思っています。

体調不良とは、新型コロナウイルス感染の疑いのある症状を指す。(平熱を超える発熱、咳のどの痛みなどの風邪症状、倦怠感(だるさ)、息苦しさ(呼吸困難)、味覚嗅覚の異常、体が重く感じる・疲れやすい等)基本的に各チームの判断とさせていただきますが、熱中症やトレーニング不足による症状との見分けが非常に難しい場合は、速やかに事務局に相談してください。

場合によっては大会中止の判断もあり得ますので御理解をよろしくお願いいたします。

《その他》

マスク着用。

手洗い・うがいの実施。

試合終了後のベンチ等使用した用具の消毒。

ロッカールームの使用は原則禁止にする。

できるだけ会場にいる人数は少ない状態で運営する。

マネージャーズミーティングも3密を避けた状態で実施。その際に留意点等を確認。

このプリントを配布、読み合わせなどを行い各チームでの周知、徹底をお願いいたします。

選手が最後までサッカーを楽しめる環境作りのために何卒ご協力よろしくをお願いいたします。

コロナの時代の『新たな日常』に向かって社会が動き始めました。

サッカーもその動きに合わせてながら、慌てず、ゆっくりと始めていきたい。

命を守ること、生活を守ること、大切な友人を守ること、よく考えて活動していきましょう。

そして、少しでも日々の暮らしに喜びや楽しみを加え、生きる力を高めるためにサッカーのある風景をつくっていきましょう

JFA 技術委員長

反町康治

【JFA の理念】

心身の健全な発達

【JFA のバリュー】

エンジョイ:スポーツの楽しさと

喜びを原点とすること